

# 抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	平成 年 月 日 20. 4. 16		
申請者	所属科: 外科	医師名: 石田秀之	印
抗癌剤プロトコール内容			
略名			
適応臓器名	手術不能又は再発乳癌、結腸癌における術後補助化学療法		
薬剤名	カペシタピン錠 (商品名: ゼローダ錠、XELODA)		
注意点	<p>用量規制因子は手足症候群 (Hand-foot syndrome) である。</p> <p>併用禁忌: TS-1 投与中の患者および投与中死後 7 日以内の患者。</p> <p>ワルファリンカリウムとの併用により、血液凝固脳検査値異常、出血が発現し、死亡に至った例が報告されている。</p> <p>効能・効果に関連する使用上の注意</p> <p>1) 手術不能又は再発乳癌に対して: 単剤投与を行う場合にはアントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法の増悪若しくは再発例に限る。</p> <p>2) 結腸癌における術後補助化学療法に対して: Dukes C 以外の結腸癌における術後補助化学療法での本剤の有効性及び安全性は確立していない。</p>		
用法・用量・投与スケジュール			
<p>手術不能又は再発乳癌にはA法又はB法を使用し、結腸癌における術後補助化学療法にはB法を使用する。</p> <p>A法; 体表面積に合わせて以下の投与量を朝食後と夕食後 30 分以内に 1 日 2 回、21 日間連日経口投与し、その後 7 日間休薬する。</p> <p style="margin-left: 40px;">1.31m<sup>2</sup> 未満                      1回用量 900 mg</p> <p style="margin-left: 40px;">1.31m<sup>2</sup> 以上 1.64m<sup>2</sup> 未満 1回用量 1200 mg</p> <p style="margin-left: 40px;">1.64m<sup>2</sup> 以上                      1回用量 1500 mg</p> <p>B法; 体表面積に合わせて以下の投与量を朝食後と夕食後 30 分以内に 1 日 2 回、14 日間連日経口投与し、その後 7 日間休薬する。</p> <p style="margin-left: 40px;">1.31m<sup>2</sup> 未満                      1回用量 1500 mg</p> <p style="margin-left: 40px;">1.33m<sup>2</sup> 以上 1.57m<sup>2</sup> 未満 1回用量 1800 mg</p> <p style="margin-left: 40px;">1.57m<sup>2</sup> 以上 1.81m<sup>2</sup> 未満 1回用量 2100 mg</p> <p style="margin-left: 40px;">1.81m<sup>2</sup> 以上                      1回用量 2400 mg</p>			
Evidence	添付文書。		
備考			
がん化学療法委員会承認日: 20. 4. 21			